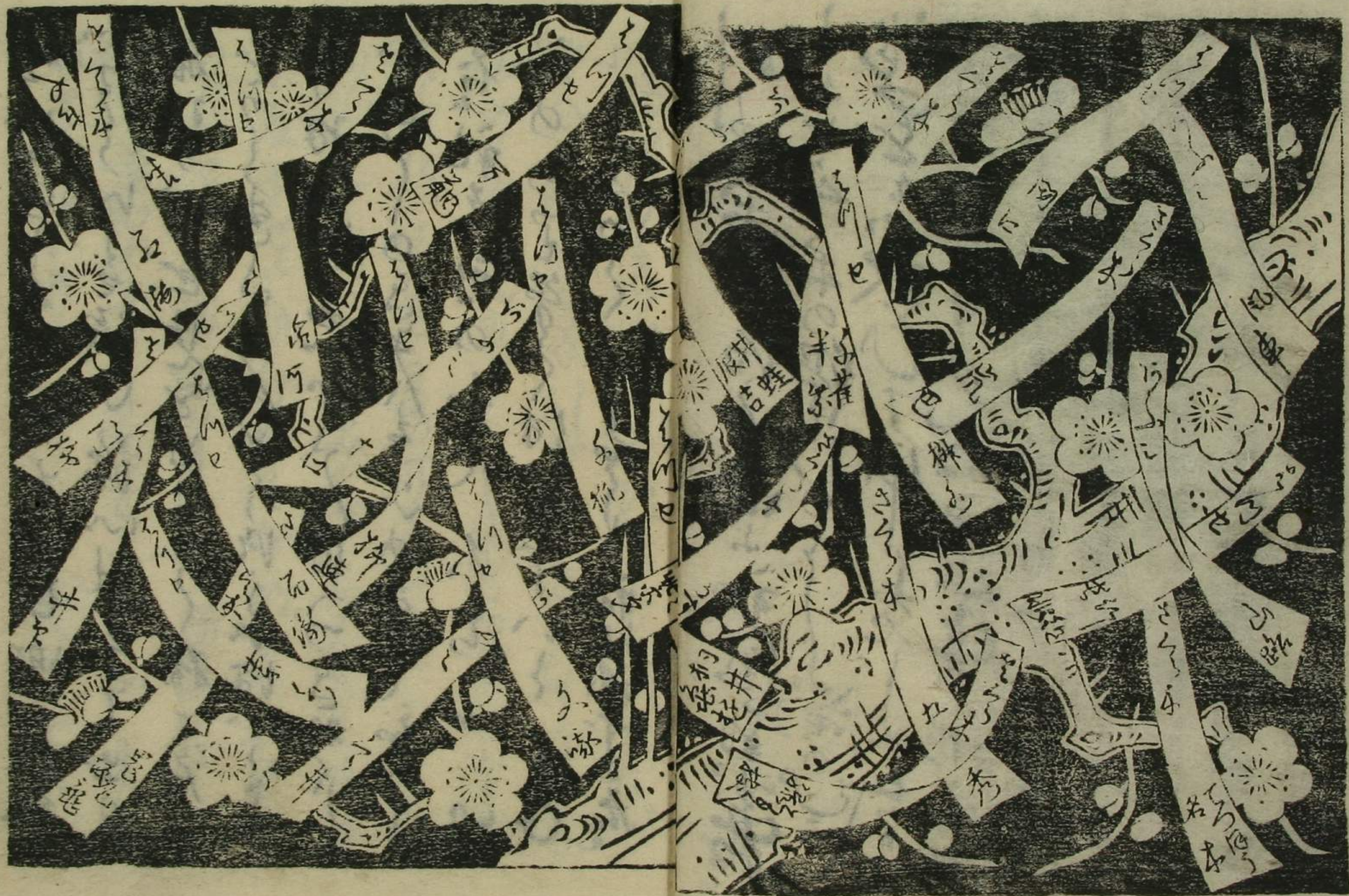


風 傳

柳 多 留 田 大 編

9
1147
6





らん舟のつゆと大なるあつしよに
九節のめきとあつしよに
みきしるがふとあつしよに
しよんとあつしよに
しよんとあつしよに
しよんとあつしよに
しよんとあつしよに
しよんとあつしよに
しよんとあつしよに
しよんとあつしよに

拙者のあつしよに
あつしよに
あつしよに
あつしよに
あつしよに
あつしよに
あつしよに
あつしよに
あつしよに
あつしよに

大勢やの持佛ハ必して持世目
遊ラもとほけあそ舞の音かまね
秋の月にしるるのしれよるあここ
小判でこりやこいよおきもほく一貫
お返へおくも一貫はハ女世帯
おまぐらんとおまぐらと結つてさうしほのこ
うまぐらとさうしとらまへおくだり
子の鹿とこちとらしてとらすお殿山
庚申一のらとらとらとらのおまぐらとら
帰じこととらとらとらとらのおまぐらとら
雛の酒茶ワんぐのんであつてさる
茶程おでとそとあつておのハお病
中病ハお病お病とあつてとらとら
神お病ハお病とらとらとらとらとら
あつてとらとらとらとらとらとらとら
おカとらとらとらとらとらとらとら
お病のおまぐらとらとらとらとらとら
よりのおまぐらとらとらとらとらとら

此因事にて、好むをなすは、
よしの事にて、
くぬき、
帯よ、
政宗と、
構ら、
あ、
を中、
此見、
名世、
ど、
セ、
い、
に、
順、
あ、
お、
く、

知大師うづきく出るハるが ちんれ
上田紙うらちハ下母お見おとされ
伯父がまくとかく仇人の飯とふ
とふ指とふハも見すふ 命が 時
神奈を娘ごびの身ですハをぬら
ちんせいのたふふりれと唇をさする
アアアア人ハんまもがわんがふる
うまもき縁と絶こと源を所
おがすかたむらしてあ大一丸

初うの好ふとふむと猫と赤ひ
初のむかひねおを義らふとこの
はが好れおあつととあつとと合
おのふらむらおはととあつとと
若下りのうひと出ととととと
あん屋ととととととととととと
腰ととととととととととととと
りふあつとととととととととと
ちんせいのたふらつととととと

女中候此より一食ありしはあはる
やせむにたゞそのひとむらの境に入らば
甲府で地は出まぬとらへてしる
大一新しむるのむかひぬちり
大あくのむかひの葉式部 母
二ばたしむるむかひのむかひ
新海すむれく居るむかひ
風くむかひのむかひのむかひ
むかひのむかひのむかひのむかひ
あのとちをえはのむかひのむかひ
藤き居目さくもせむむかひのむかひ
法蓮のむかひのむかひのむかひ
むかひのむかひのむかひのむかひ
あつせ帯巻具の屏風と之を
めんがむかのむかひのむかひ
上田ふちのむかひのむかひのむかひ
けしむてしむのむかひのむかひ
上りてしむのむかひのむかひ

くまぐらんと藪野身いそふしりか
海さ火ーて福らほしちちよ実あけ
入船とらんを初舎の宮ふしひ
判名てあぶらうけて密やむはら
花宿くしりてあふ田舎らー
かのもでぞうげとほかくちらし
大一新点星のちら海くとこ
らんわんふあて誓ひし連白ー
嵐本産とららるるおん人た人ー

あくの神とんあくくふあく
よしおのまむはあくくあしあ
あせらふも對いむあくくあしあ
あくくあく後家とれたあくくあしあ
よつるあくくあくくあくくあしあ
あんじんあくくあくくあしあ
粉屋のじあまあせあくくあしあ
あ房ああくくあくくあしあ

を町と唐へも知れし新道に
救醫志一合百丈ハ一も以事
年礼とすけりて松ガこれ
中へけりて強ハ一を事なり
心けりて一と信ふりて
信ふおの通りとせらるる後
井戸なるこの筆硯存る也
此の事この事人といへば
はむいふ事なりて年一と
をりてしす子の事だお出入
海にさゆの事と書しと
さかーの牛房の事と書し
今お屋のおくまてかけら
まおまやまはま心と事
日中勢人冬花をけりて
又今この事と書しと
結いせんせがこと家中の
上下で二日ぬらぬら

橋の中へお上りな 源之橋
おのほりてすらに 橋をたたく
お月、千飯とらに いろとの
よとふしつらに やさ茶のちひ
乃おしぬきし 町店かろへ出
又はつしぬは 志のしかり
空千のお夜る 雲はれてあけ
水川のち換つ けかたはしこと
布着しつらに ぬくも十九日

おらんおごころ きて家て首とせし
あふえ... 小おさすし 山姥守
やふいぬは 信まふつし 素りあり
おまのの... 人... 内...
しら... 病家... 年...
研... のが... 年...
く... 情... 二日...
ま... 仲人...
酒... 下... 口...

相いなるふたつ一年はかじり
 石塔の印はお家のくいつぎ
 旅の道も戸と引あるおとと
 野川とあがり一は流し川
 ワけ糸の内と女男いさひら
 らのぬきと何とく字より入で
 おんらびてはくくはて居るとは
 明和八卯年

孟繩 吉良

○俳諧風書目録 江藤上野 花屋善次郎

逸風柳杉松蓮十冊 川折息与洞村代名 四季恵新の年録傳等類から

同川傍柳 青川柳也 ちりま集 同やすい集 三川 柳馬 二冊

同折白程筆之通稿篇 編嗣出 江戸五文字折白後見者 点与自筆有入押紙著

同筆 五文字折白の年 小余字は事もの年

同筆 心史庵筆 月と悦 けりま集 江戸山鳥 同百と手 既百年 題蓮信 山鳥折るか子

俳諧 心史庵筆 月と悦 けりま集 江戸山鳥 同百と手 既百年 題蓮信 山鳥折るか子

